



## チーム まもる・つながる

令和4年度

### 今年度の活動テーマ

- 気軽に相談できる地域を目指し、コロナ禍の中でも孤立をさせないようつながりづくりを行う。
- 地域の各機関に配布しているリーフレットの改編を行う。
- 情報交換会を行う。

### 活動内容

#### 第1回チーム会議(8/3)

- ・代表者選出(自閉症児者親の会 大久保氏)
- ・今年度の活動計画
- 「リーフレットの改編」・新設の相談機関について
- 「情報交換会」・チーム参加者内での情報交換等

#### 第2回チーム会議(9/28)

- ・情報交換会・各団体の詳細な活動について
- ・「リーフレットの改編」・自立支援協議会のQRコードを掲載する

#### 第3回チーム会議(11/29)

- ・情報交換会(各団体から気になる相談について)
- 情報提供・海老名市社協・みんなの相談について、スポット的な後見制度について
- 気になる課題・○虐待ケースの増加について ○支援している家族の高齢化問題
- 引きこもりの問題 ○複数の課題を抱える家族の問題

#### 第4回チーム会議(1/28)

- ・情報交換会(グループディスカッション・高齢の母から引きこもりの青年の相談を受けた事例からネットワークを考える)
- ・リーフレットの配布先について(配布先の広げ方と配布方法)

### 活動を通じての気づき・成果・行政や地域に向けた提案・次年度に向けて



- ・1年間を通じ、リーフレットの改編について話し合った。様々な人が情報にアクセスできるように、紙ベースだけではなく自立支援協議会のHPにリンクさせることなどの工夫が意見としてあがり掲載することになった。また、新しい相談窓口、海老名市社協の「みんなの相談」や海老名市を管轄する厚木児童相談所などを相談先に加えた。次年度は、リーフレットの配布に力を割く過程で、海老名市民への啓発活動や新しいつながりづくりを模索していく。
- ・チーム内の情報交換を通じ、「虐待ケースの増加について、支援している家族の高齢化問題、引きこもりの問題、複数の課題を抱える家族の問題」等の課題が話題にのぼった。フリースペースや各団体の活動の参加者は、必要な情報を得やすく、大きな問題になる前に予防されている。また、市役所や専門機関等では、各部署、各機関が連携を図り、様々な個別支援を行っているため、発見一情報の共有一見守りができるネットワークが機能すれば、問題の早期発見、問題の悪化の予防につながるとの気づきを得た。
- ・その他、大規模災害時における障がいのある方への支援についても課題として意見があった。

# もしかして、こんなことに困っていませんか…？

## 【SOSの発信】

『ママ友と関わるのが面倒だから、一人で子育てしているけどとっても大変。どうしたらいいの？』

『うちの子、他の子と違うけど大丈夫かな？  
誰にも言えない…。』

『子どもが自宅で暴れて手がつけられない。  
病院に連れて行きたくても拒否している。  
どのように連れていけばいいんだろう。』

『親亡き後、障がいがある子どもがどう  
生きていくのか、心配でたまらない。』

『一人で家にいると寂しくて、訪問販売の人  
が唯一の話し相手なんだよね。』

『娘夫婦と同居しているんだけど、年金の通帳  
を取られちゃったよ。』



『うちのおばあちゃんが、最近物をとられたと  
嫁の私を泥棒扱いする。これって認知症？』

『死にたくなっちゃった…。』

『子どもが言うことを聞かなくて、  
つい何度も叩いてしまう。』

『息子がずっと家に閉じこもって…。』

『詳しく言えないけど、どこに相談したら  
いいかわからない悩みがある。』

『お金がなくて生活が苦しい。』

『優しい夫だけど、  
突然暴力を振るわれることがある。  
みんなそうなのかしら…？』



# まわりの方へ、こんな人身近にいませんか？

## 【SOSの受信】

『あの子、最近見かけないし、学校へも行っていない  
みたい。』

『お父さんが「しつけ」と称して何度も叩いている。』

『子どもに障がいがあるようだけど、お母さんが誰にも  
相談していないみたい。』

『知り合いに心の病を抱えている人がいる。病院に行く  
ように言っても本人が大丈夫と言う…。』

『隣の家の息子さん、ずっと引きこもっているみたい。』

『いつも酔っぱらってお酒を買いに来るおじいちゃん  
がいるけど、大丈夫かな？』

『あのおばあちゃん、最近急に身なりがだらしなく  
なってしまったね…。』

『ポストに郵便物がすごくたまっている。  
どうしたのかな？』

『ご近所の家がゴミの山になっている。家族で住んで  
いると思うけど姿が見えないし、どうなっちゃって  
るんだろう…。』



## ●相談先に迷ったらこちらへ

困りごと相談電話 (海老名市社会福祉協議会)	(代表) 046-235-0220
---------------------------	----------------------

## ●困りごと別の相談先はこちら

困り事・知りたい事	相談先	TEL
子育ての悩み	子育て相談課	046-235-4825
心身の健康のこと (子ども)	こども育成課	046-235-7885
子どもの発達のこと	わかば学園	046-292-1088
子どもに関する相談	厚木児童相談所	046-240-6430
20歳未満の方の 教育相談	教育支援センター (えびりーぶ)	046-234-8700
	障がい福祉課 (虐待防止センター)	046-235-4813
	ゆうむ 結夢	046-235-2704
障がいのこと	ゆうむぶらす 結夢+	046-240-9751
	びーなす びーなす	046-292-1122
〃	傾聴窓口『K. T. S.』 (当事者による相談)	046-200-7565
〃	相談窓口『みんなの相談室』 (くらし、こころ、しごとの相談)	046-244-3950
高齢の方のこと	地域包括ケア推進課 (虐待防止センター)	046-235-4950
心身の健康のこと	健康推進課	046-235-7880
〃	厚木保健福祉事務所 (代表)	046-224-1111
生活全般のこと 市役所について	市民相談課	046-292-0880
生活困窮・経済難	生活支援課	046-235-4821
女性の相談 (DV)	市民相談課 (女性専用ダイヤル)	046-231-2224
神奈川県 男性被害者相談 (DV)	神奈川県配偶者暴力 相談支援センター	0570-033-103

# わたしたちの暮らしをとりまく現状

～無縁・孤立社会と呼ばれる社会現象

- 核家族化から単身世帯へ
- 世帯・地域の高齢化
- 自殺者の増加
- 高齢者・障がい者・児童の虐待
- ごみ屋敷問題
- 孤立死・一家で餓死
- ニート・ひきこもり・不登校…
- 便利社会
- 生活困窮者

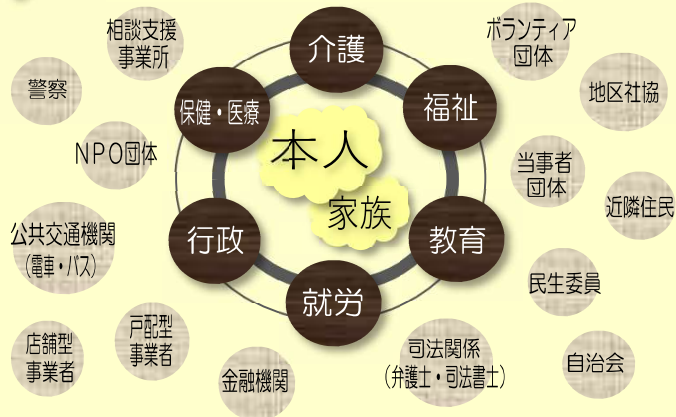
なぜ？



- 自分のことは知られたくない、他人のことも知らないでおう。
- 『自立』…人に迷惑をかけないように自分で何とかしないと。
- 困っている、なんて言ったら社会から見放されてしまうかも。

## チーム まもるつながるネットワーク

社会福祉協議会（困りごと相談）



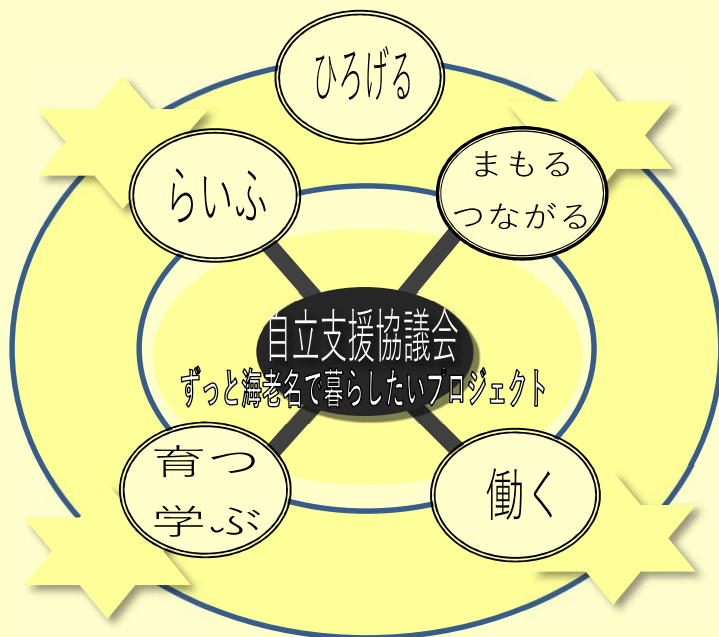
- 直接困ったことは言えなくても話ができる相手があると安心。
- ちょっとでいいから休める場所があるといい。
- 一生懸命がんばってる人を支える人がほしい。
- 気づく、そっと見守る、いざというときには支える。
- 自分（家族）だけではどうにもならないことも誰かの介入であらたな関係ができる。
- 地域・学校・関係機関…どこかにつながるといい。
- 障がい・子ども・高齢などの分野に区切らず気軽に相談できる体制。

# 「ずっと海老名で暮らしたいプロジェクト」って？

海老名市自立支援協議会※では、次のねがいをかたちにするために目的別の4つのチームを作り、話し合いを重ねています。

《ねがい》

- 住み慣れた海老名で仲間をつくり、自分らしく楽しく活動したい。
- 質の高い福祉サービスを受けて安心して暮らしたい。
- 障がいがあってもなくても、温かい目で見守られ、困ったときは相談に乗ってもらえる家族や隣人、仲間や事業所がある、そんな地域をつくりたい。



## チーム まもるつながる

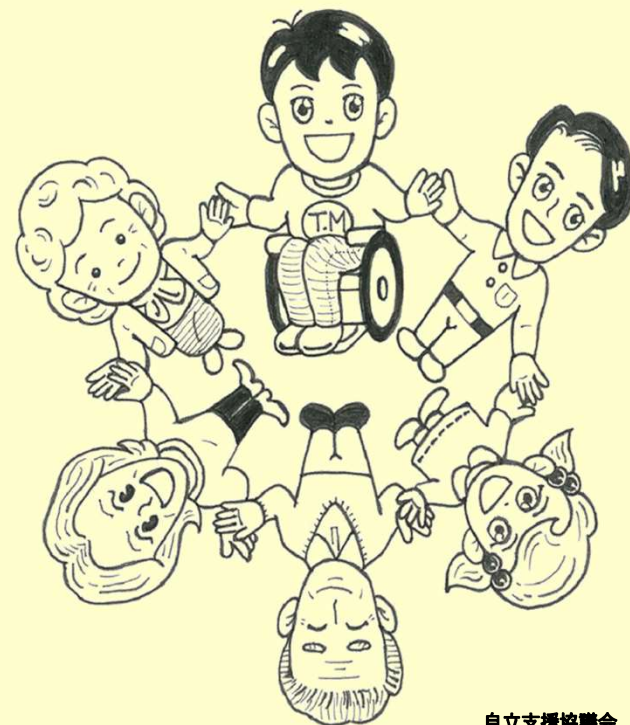
「チームまもるつながる」は、地域で暮らす困り感を抱えている人のSOSを受け止め、気軽に相談できるようにお知らせする目的で、このリーフレットを作成しました。

### ※海老名市自立支援協議会とは

海老名市に在住する障がい児者のよりよい地域生活を支援するために、関係諸機関及び団体のネットワークを形成し、福祉サービスや社会資源の利用等を総合的かつ継続的に調整・推進することを目的とする協議会です。

「困ったな…」と思ったら  
「困っているのかな…？」  
と気付いたら

～気付き・つながり・支え合い～



海老名市自立支援協議会  
チームまもる・つながる

2022年12月 改編

自立支援協議会  
ホームページ

